

的にも解明が進んでいる本遺跡の重要性を重視し、過去10年間の成果をまとめ、基本資料を刊行するために今年度から本報告作成を行っている。

(4) 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

- ① 第20回福島県埋蔵文化財発掘技術者講習会
  - 期間 平成4年8月4日～8月6日
  - 会場 須賀川市大東公民館 郡山市 正直A遺跡
  - 人員 33名
  - 内容
    - ・講義(1)「遺跡発見から発掘調査まで」  
文化課専門文化財主査 西間木 薫
    - ・講義(2)「福島県内の埋蔵文化財発掘調査の現況」  
財団法人福島県文化センター 遺跡調査課文化財主査 大越 道正
    - ・発掘調査実習 正直A遺跡(8月5日～6日)
- ② 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター主催 埋蔵文化財発掘技術者等研修
  - ア 一般研修
    - 一般課程 平成4年7月1日～8月7日  
長谷川 正 本宮町立歴史民俗資料館
  - イ 専門研修
    - 環境考古課程 平成4年5月28日～6月19日  
佐藤勝比古 財いわき市教育文化事業団
    - 文化財写真課程 平成4年10月13日～10月30日  
藤谷 誠 財福島県文化センター遺跡調査課
    - 遺跡保存整備課程 平成4年11月19日～12月9日  
柳沼 賢治 財郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団
    - 保存科学基礎課程 平成5年1月19日～1月29日  
高村 朋子 財福島市振興公社
  - ウ 特別研修
    - 金属遺物科学調査課程  
平成4年12月15日～12月18日  
高荒 淳 財福島市振興公社

- 木器調査課程 平成5年2月4日～2月9日  
吉田 功 財福島県文化センター遺跡調査課
- 有機質遺物応急処理課程  
平成5年2月16日～2月19日
- 埋蔵文化財基礎課程 平成5年3月2日～3月8日  
佐藤 邦昭 福島県教育委員会  
岩田健太郎 会津若松市教育委員会

(5) 埋蔵文化財保護の普及活動

埋蔵文化財調査報告書の刊行

- ① 母畑地区遺跡分布調査報告 17
- ② 母畑地区遺跡発掘調査報告 32
- ③ 東北横断自動車道遺跡発掘調査報告 15・16・17・18
- ④ 三春ダム関連遺跡発掘調査報告 5・6
- ⑤ 原町火力発電所関連遺跡調査報告 Ⅱ

(6) 埋蔵文化財周知事業

平成3年度から平成6年度までの4ヶ年の計画で、県下全域を対象により詳細な分布調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の実態をより正確に把握し、その周知徹底を図るとともに、文化財保護の基礎的資料として「埋蔵文化財包蔵地分布図」及び「地名表」を整備する。

平成4年度は、県中地区の調査を実施し、およそ3,360箇所埋蔵文化財包蔵地を確認し、遺跡台帳等を整備した。

(7) 県内の発掘調査の状況

発掘調査(試掘調査を含む)の原因別・方部別件数は、下表のとおりである。原因別では、道路建設、都市計画による区画整理事業を含む宅地造成、農地開発工事に関連する土木工事等による発掘調査が上位を占めている。また、大規模な開発が増加する傾向にあり、開発用地が広大な面積となるため、工法対応等による部分調査で対応できずに全面調査となる遺跡が増加している。その結果、発掘件数は減少しているが、一遺跡あたりの調査面積は拡大して来ており、全体として発掘調査量は膨大なものとなっている。

平成4年度発掘調査件数

(平成5年3月)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
農業関係(国・県・団体)		5		5				10
都市計画等	12	8	2				2	24
道路建設	5	40	1	3		3	13	65
河川・ダム・空港	9			1				10
宅地造成等	2	9				2	1	14
学校建設				1		1		2
その他の建物	1	1	2	1		1		6
電気・ガス・水道	3							3
ゴルフ場・土取り			1					1
その他	2	3	3			1	1	10
学術調査		1	2	3		2	2	10
計	34	67	11	14	0	10	19	155

発掘調査件数155件の内訳は、県教育委員会が実施したものの30件、市町村教育委員会が実施したものの125件です。なお、事前協議のための試掘調査は、97件です。